

2020
8
Vol. 54

社会福祉法人すこやか福祉会

発行日: 2020 年 8 月 20 日 第 54 号

本部事務局 住所: 〒120-0023

東京都足立区千住曙町 4-16

TEL: 03-5813-9251

住みなれたまちで



物を丁寧に扱う・大切にすることが育むものとは

先日、子どもたちがお部屋に入った後の園庭を見てみると・・・

砂場の横にある、砂場道具入れの中に、遊び終わったフライパンが乱雑に片付けられていました。たくさんの砂場道具がランダムに片付けられている道具箱の上に、大切そうに置かれていたのは、葉っぱやお花が散りばめられているフライパン。

きっと、ケーキ作りを楽しんでいたのでしょうね。砂のケーキをデコレーションするために葉っぱをつんで、きれいに飾りつけも楽しんでいたのでしょう。お友だちと『こうしようか?』『これイね』なんて会話を楽しみながら作っていたのかもしれません。

遊んでいた様子は残念ながら見ることはできなかったのですが、葉っぱ入りのフライパンを見たときに、子どもたちが遊んでいた風景が浮かび、このケーキに対する気持ちがグッと伝わってきて、思わず『わあ～素敵なケーキ作ったんだあ～』と、呟くには大きな声で呟いてしまいました。

ハ潮かえで保育園では、保育室・園庭共に、おもちゃや道具は、基本、子どもたちが自ら手にして遊ぶことができるように設定しています。おもちゃも道具も定位置を決めています。「使ったら元に戻す」ということを伝えていますが、使ったものをそのまま元に戻す、片付けとは矛盾しているように思いますが、物を丁寧に扱う・大切にするといい気持ちは、自分が一生懸命作ったものや楽しかったこと、イメージを膨らませて遊んだ経験・・・子どもたちが心で感じていくことで育つものなのだな・・・と感じたひとこまでした。【吉澤 木綿子】



すこやか福祉会を支援する会主催

「すこやか作品展」開催します

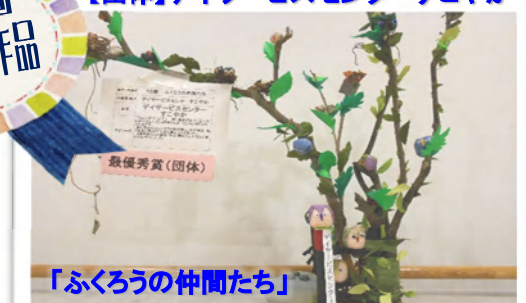
今年で 9 回目を迎える好評企画の作品展！

コロナ感染症予防のため、開催方法を変更していますが、11 月に開催予定です。

皆さん今から構想を練っておいてくださいね♪



【団体】デイサービスセンターすこやか



2019 年度決算報告

社会福祉法人すこやか福祉会

(自) 2019 年 4 月 1 日 (至) 2020 年 3 月 31 日

○貸借対照表 (資産の状況)

単位：千円

科 目	今年度末	前年度末	増減額
資 産	4,015,609	4,125,609	▲109,631
負 債	1,443,894	1,492,108	▲48,214
純資産	2,572,083	2,633,500	▲61,417

○資金収支計算書

単位：千円

科 目	予算	決算	差異
事業活動収入	3,448,602	3,446,369	2,234
事業活動支出	3,324,999	3,332,340	▲7,341
事業活動収支差額	123,604	114,029	9,575
施設整備等収入	2,460	2,460	0
施設整備等支出	70,081	70,081	0
施設整備収支差額	▲67,621	▲67,621	0
その他活動収入	50,645	50,645	0
その他活動支出	79,365	79,365	0
その他収支差額	▲28,720	▲28,720	0
当期資金収支差額	27,263	17,688	9,575
前期末資金残高	629,946	629,946	0
当期末資金残高	657,209	647,634	9,575

○事業活動計算書

単位：千円

科 目	当年度	前年度	増減額
サービス活動収益	3,432,153	3,471,772	▲39,618
サービス活動費用	3,431,055	3,417,020	14,035
サービス活動増減差額	1,098	54,751	▲53,653
サービス活動外収益	14,215	17,146	2,931
サービス活動外費用	10,798	11,464	▲666
サービス活動外差額	3,417	5,682	▲2,264
経常増減差額	4,515	60,433	▲55,918
特別収益	1,920	5,341	▲3,421
特別費用	3,865	30,731	▲26,866
特別増減差額	▲1,945	▲25,390	23,445
当期増減差額	2,570	35,043	▲33,472

○貸借対照表(資産の状況)

2019 年度末の現預金残高は約 3 億 8000 万円で、前年度末よりも約 2200 万円減少し、サービス活動費用合計からみた現預金残高の月商倍率(現預金対事業活動支出比率)は 1.33 倍となり、2018 年度末の 1.41 倍より 0.08 減少しました。

短期的な支払能力指標の流動比率(流動資産÷流動負債)は 246%でした。

資産合計から負債合計を除いた差引純資産が前年度より約 6100 万円減少し、25 億 7000 万円となりました。

○資金収支計算書

予算は年度末に確認した補正予算のため、決算との差額はほとんどないのですが、2019 年度は事業活動収入で 960 万円の差異が生じました。

日常の事業活動に関わる事業活動資金収支差額は 2018 年度よりも約 4900 万円減少し約 1 億 1400 万円となりました。

当期末支払資金残高は、前年度 6 億 3000 万円より約 1000 万円増加し、6 億 4800 万円となりました。

○事業活動計算書

サービス活動収益は一部閉鎖した事業所があり、また人材確保が困難な影響で 4000 万円減少しましたが、サービス活動費用は Windows10 対応へのパソコン入れ替えなどがあつたため 1400 万円増加しました。

2019 年度の人件費率(サービス活動収益比)は 76.5%で 2018 年度の 75.2%と比較すると 1 ポイント以上増加しています。前年度に引き続き、職員離職率は全国平均よりも低い傾向にあり、2019 年度は介護系常勤で 8.0%、保育常勤で 13.0%、法人全体では 9.1%でした。

当期活動増減差額で 5 期連続の黒字で+260 万となりましたが、2018 年度よりも 3300 万円減少しました。

すこやか福祉会は、2021 年度からの第 2 次 5 カ年計画(AreaMovement2025)を今年度中に作成し、「安心して住みなれた地域に住みつづけること」を追求していきます。引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。

すこやか福祉会常務理事 菊地雅彦

新型コロナウイルス感染症対策について ～各事業所での取り組み～

特別養護老人ホーム

～ご家族同士が触れ合える そんな当たり前の日常を目指して～

特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷では、コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月下旬よりご家族様面会の意識的自粛を呼びかけていました、さらに4月1日からはお看取りや緊急時以外の面会は全て中止とさせていただきます。終わりの見えない未曾有の事

態に入居者様やご家族の心配や不安も拡大していくばかりです。

面会について手探り状態で色々始めました。まずは中庭から、2階3階のフロアを見上げてもらい、入居者様が窓から顔を出して会話をする、ロミオとジュリエット式面会(写真)。ZOOMアプリによるリモート面会も時間を限定し予約制で始めました。緊急事態宣言解除後は中庭でビニールカーテン越し面会を実施、徐々に距離が近くなってきましたが、都内感染者拡大をうけ、現在はガラス越しで携帯電話を使つての面会になっています。

何気ない日常の様子を個別写真を撮り、ご請求書と一緒にコメントを付けてご家族へ送付したり、外に出られないのでフロア内で出来る夏企画を開催したりと、少しでも楽しみを持てる取り組みを行っています。このような状況でも施設として何ができるのかを考え、やれることを実施していきたいと思ひます。

そして最後に、ご家族同士がふれあえる、そんな当たり前の日常が1日でも早く戻ることを心より祈っております。【天野 義久】



通所介護事業所

～外出自粛でお休み中のご利用者さまへ ご自宅で出来る体操や頭を使う作業を、 メッセージ入りで配布～



例年であれば、インフルエンザやノロウイルス対策の確認をしていた時期ですので、基本的には来所時と食事の手洗い・うがいの徹底、(アルコール消毒も含む)食事前のテーブルのアルコール消毒について職員同士声掛けをしながら行っていました。

新型コロナウイルスの情報が出てからは、それにプラスしてマスク着用の徹底を利用者さまにもお願いしましたが、同時にマスクの確保が困難になってきたので、自発的に全事業所で手作りマスクを作成し、付けていただくようにしました。食事の際の座席配置の工夫や利用者さまが同じ洋服を長く着ていないか等も声を掛けさせていただきました。

また、新型コロナウイルスを心配し、通所を自粛する方も増えた中で、外に出なくなりご自宅で転倒されたなどの情報も入り、ご自宅でも行える体操や頭を使う作業のプリントをメッセージ入りで作製し利用者さまのお宅に配布しました。「元気で過ごしているよ、早くデイに行きたい」などのお電話をもらったり、独居の方などはこちらから様子を伺う電話をさせていただき、情報を通所の事業部の中で共有しながら、利用者さまとの繋がりを続けております。【吉井 暁】

訪問介護事業所

～しっかりと感染予防で 地域のご利用者さまの命と生活を守る～

訪問介護事業所では、新型コロナウイルスへの感染予防対策として、事業所の入口、洗面所の前に張り紙をし、とにかく手洗いを徹底するよう職員に常時呼びかけています。

また、各事業所の工夫としては職員の体温表を作成、出勤前の体温測定を実施。換気の重要性が謳われるようになってからは、入口を開け放ち、常時換気を行っています。

今はマスクや防護服の供給がありますが、これまで一番困ったのは、やはりマスクが足りないということでした。一時は、事業所内に残っていたマスクを職員で分け合い、それぞれがマスクを洗って何度も使うという対応をとりました。感染が拡大し、緊張感も高まる状況の中、予防具が手に入らないため、防護服の代わりにポンチョをそろえるなどして万が一に備えました。

メガネ ↓



ポンチョ ↑



職員の体温表

新型コロナウイルスの感染拡大も一旦は収束しかけたようにも見られましたが、また感染が拡大しつつある現在、しっかりと感染予防対策を講じ、地域の利用者さまの命と生活とを守って行きたいと思います。【猪瀬 茜】

保育園

～子どもたちの笑顔を守るために 感染予防につとめてまいります～

こばとの森保育園では、緊急事態宣言を受け 6 月まで休園・登園自粛となり、10 名前後の登園でしたが、7 月から通常保育となり、定員 91 名のうち 70 名前後が登園しています。

長い間の家庭保育、久しぶりの保育園生活で保護者と離れる不安や寂しさで登園を嫌がったり、泣いている子もいますが、安心して過ごせるように、子どもたち一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、日々保育を行っています。

どうしても、子どもと密に接する事が多い中では、感染予防を怠るわけにはいきません。3 歳児以上の子どもと職員のマスク着用の徹底、職員・子どもたちの検温はもちろん、登園・降園時の送迎者の検温や家族の体調の聞取り、毎日のおもちゃや使用した場所のこまめな消毒など…あげれば、キリがありません。

特に、子どもたちの食事、配膳には気を付けています。食事は同じ方向を向いて座るよう配置し、配膳やおかわりの



対応は同じ職員が行います。食べ終わった子の下膳は手袋を替えて行い、席の消毒も欠かさず行っています。

これからも、子どもたちの笑顔を守るために、感染予防につとめてまいります。【松井 洋美】



食事の様子

すこやか福祉会の魅力や情報を SNS で見てください！

すこやか福祉会

検索



You Tube チャンネル
すこやか福祉会

